

各位

株式会社宮崎太陽銀行

SDGsに関する取組みについて

2015年9月、国連本部で開催されたサミットにおいて、「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、2030年までに地球規模で解決すべき17の目標と169のターゲットが掲げられました。

株式会社宮崎太陽銀行（頭取 林田 洋二）は、地域に根差す地域金融機関として、役職員一人ひとりが地域の課題解決に積極的に取組むことを通じて、SDGsの達成に貢献し、地域とともに持続的な成長を目指してまいります。

なお、SDGsに関連する当行の取組み状況を下記に記載させていただきますので、ご高覧の上、当行に対するご理解を深めていただければ幸いです。

当行は、今後とも、地域活性化への貢献に努めていくため、様々な取組みを行ってまいりますので、変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。






＜当行の取組みを通じたSDGsへの貢献状況＞

No.	目標内容	当行の取組み
	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	・金融包摂への取組み
	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	・農業分野への取組み、投資
	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・職場献血 ・ドナー休暇制度 ・おもいやり駐車場 ・働き方改革 ・ユニバーサルツールの設置
	すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・エコノミクス甲子園 ・高校生就活支援バスツアー
	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・イクボス宣言 ・管理職・監督職への女性参画・登用

<当行の取組みを通じた SDGs への貢献状況>

No.	目標内容	当行の取組み
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ用の水として雨水利用
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の街路灯使用 ・公共交通機関での通勤 ・再生可能エネルギー事業への金融支援
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓支援 ・商流に基づく事業性評価 ・お取引先への資金供給 ・安定的な資産形成の支援 ・円滑な事業承継支援、創業支援
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎大学認定コーディネーター制度参画 ・販路開拓支援
 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	各国内及び各国間の不平等を是正する	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルツールの設置 ・認知症サポーター、ユニバーサルマナー研修 ・おもいやり駐車場制度 ・視覚障がい者マラソンへの協賛 ・障がい者アート作品のノベルティ活用
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな親切運動（清掃）
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	持続可能な生産消費形態を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化への取組み ・販路開拓支援

<当行の取組みを通じた SDGs への貢献状況>

No.	目標内容	当行の取組み
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電、雨水利用 ・ペーパーレス化への取組み
 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保護活動（河川）
 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保護活動（河川）
 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	<ul style="list-style-type: none"> ・「みやざき地域見守り応援隊協定書」締結 ・コーポレート・ガバナンス強化の取組み
 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化化する	<ul style="list-style-type: none"> ・DKC との連携による SDGs への取組み ・JPBV 加盟による実施手段の強化 ・小さな親切運動宮崎支部長企業としての取組み

(以上)

本件に関するお問い合わせ先
 総合企画部 企画統括グループ 實藤
 TEL 0985-60-6275 FAX 0985-60-7070